

『広池博士記念文庫洋書分類目録』

川 窪 啓 資

広池千九郎博士所蔵の数万冊の和漢洋の書籍は、従来その一部が整理されていたにとどまっていたが、今回日本十進分類法によりはじめて組織的に整理された。編集の任にあられた関係者各位の御努力に対して、まず敬意と感謝の意を表したい。

本書はそのうち洋書の部（望月幸義編）で、その構成は①日本十進分類法による1719点、2512冊の分類（pp. 1—132）、②著者索引（pp. 133—178）、③書名索引（pp. 179—225）の3部に分かれている。記念文庫を時折利用させていただいていた一研究者として、今回の『目録』について二・三の感想を述べてみたい。

1) 広池博士の『道德科学の論文』に引用されている洋書は462点、そのうち約半数が在庫していないとされて来た。これは『論文』の引用文献まで研究をすすめていく者にとって不便でもあり、さらに『論文』の英訳に当たっている論文英訳委員会のメンバーの一人としては、まことに支障を感じる事態であった。それが今回の徹底的な整理・分類によって、従来無いものとあきらめていた書物がポツポツ発見されてきたことは、誠に有難いというほかはない。その実例を、12章6項の釈迦のところからあげてみると、
*G. Sasaki, *The Study of Shin Buddhism* (The Eastern Buddhist Society, Kyoto, 1925).

* * *A Brief Glossary of Buddhist Terms*, reprinted from the *Journal of the Buddhist Lodge, London*, compiled and published by the Buddhist Lodge, London.

があるが、前者はだしが東大の印哲の研究室で見たような記憶があるが、普通仲々入手できないものであろう。後者になると、『英国における仏教』という雑誌からのリプリントで、わずか36ページの小冊子であるから、この入手はほとんど不可能といってもよかろう。ともあれ、まだ欠本がだいぶあるから、出来るかぎり補っていただきたいものである。

2) 原文に当たっていると、色々面白いことに気がつくものであるが、後者の小冊子は『論文』⑤1516—1519に引用されている。その中でp. 1517の8—10行にわたって空海の十住心が一々列挙されているが、原文では「これらの段階を十に分類した」としか出ていない。第一の異生羝羊心から第十の秘密莊嚴心までの補足を読むとき、博士の翻訳に際する用意がしのばれる。

3) この『目録』には『論文』の引用文献以外の書物が多数収録されているが、それらを一覧することによって、博士の学問的関心の広がりや深さを垣間見ることができる。例えば『論文』にはフロイドやユングの深層心理学に関する記述はないが、記念文庫には次の二書がある。

* S. Freud, *Die Traumdeutung*, Siebente Auflage (Leipzig und Wien, 1922).

* C. G. Jung, *Collected Papers on Analytical Psychology*, authorized translation, ed. by C. E. Long, 2nd. ed. (London, 1920).

ユングのこの本には、博士のアンダー・ラインと書き込みが散見される。

『論文』7章11項③971に「如何に学問的・知識的若くは物質的に偉大な発達が完成されても、道徳的分子の欠乏せる文明及び文化は、早晚、崩壊を免れませぬ。二十世紀の歐洲文明の危機に瀕せるは即ち此消息を物語るものであります」とあるが、これを読んで想起するのは、Oswald Spenglerの *Der Untergang des Abendlandes* であろう。そこでこの『目録』をみると、やはりある。記念文庫に入って調べてみると、第1巻は1924年(大正

13年)版、第2巻は1922年(大正11年)版である。第2巻のページには、大同洋行という書店の「一金四円也」の本書の価格の入った受領証がはさまれており、大正12年1月19日の日附になっている。本書には赤ペンでアンダー・ラインが何ヶ所か入っている。『論文』7章は大正14年に執筆されたものであるから(おそらく上記の文章もそうであろうと想像できるが)、廣池博士は、シュペングラーの『西洋の没落』を念頭において、この文章をお書きになったのではあるまいか、と想像をたくましくして私は楽しんでいる。本書の完成を祝し、大方の御利用をお薦めする次第である。

(『廣池博士記念文庫洋書分類目録』モラロジー研究所、1975年3月刊、B5版(本文225頁))